

事業の概要



* 事業の概要

市民の国際理解の推進を目的として、新潟県内の留学生、JICA海外協力隊員を講師として各団体へ派遣し、各国の文化や体験談を紹介します。

* 実施期間

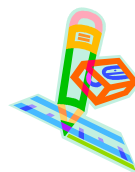
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

* どんなことができるの？

事業の活用方法は様々です。各団体のねらいに沿った講義ができます。講義時間は、1時間から3時間を目安に行っています。
(具体的な講義内容は、講師プロフィールや活動例をご覧ください。)

* どこでできるの？

講師が各団体に伺います。講義の内容により、教室や会議室、体育館、調理室、または屋外で行うこともできます。



* 費用はかかるの？

講師への謝金と交通費は長岡市が負担します。
講義で使用する設備の準備は各団体でお願いします。
また、講師の食事代等(必要となった場合)や、調理実習などの体験活動で材料が必要な場合は、実費を各団体にご負担いただきます。

* その他

- 各団体への訪問は、講師のほか、当センタースタッフが訪問します。
- 活動中、写真を撮影させていただきます。撮影された写真は、そのまま当事業のパンフレット等に使用させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。(掲載を希望されない場合はお知らせください)
- 講師の写真を、広報等で使用する際には、講師の許可を得る必要があるため、あらかじめ御連絡ください。
プレスリリースや事業実施後の広報等を行う際には、当事業を活用したことを明記してください。
- 食物アレルギー対策、食中毒対策、けが防止対策は、各団体の責任において適切に実施してください。

ご相談・お問い合わせ

長岡市国際交流センター
「世界が先生－国際人育成事業」

〒940-0062 長岡市大手通2-2-6 ながおか市民センター1階

電話: 0258-39-2714 Fax: 0258-39-2280 Email: kouryu-c@city.nagaoka.lg.jp

事業実施の流れ



- ・申込みは実施日の**45日前**までに行ってください。
- ・申込みが立て込んだ場合は、受け入れを調整させていただく場合がありますので予めご了承ください。

留学生版

外国人留学生が講師となって、自国の文化を紹介します。講師一覧(P.7~8)からお選びください。

【申込み】

- ①「講師紹介要請書(留学生)」(様式1)を記入
- ②国際交流センターへ送付

海外協力隊版

JICA海外協力隊として活動した日本人が講師となって、その経験を紹介します。講師の選定はお任せください。

【申込み】

- ①「講師紹介要請書(海外協力隊)」(様式2)を記入
- ②国際交流センターへ送付

【講師の人選】

国際交流センターが、講師と日程調整・授業内容の概要連絡(海外協力隊についてはJICAと連携)

【講師の決定】

国際交流センターが、最終決定講師を担当者へ連絡

【授業内容等の打合せ】

- ①国際交流センターが、希望する授業内容の詳細を確認し、留学生講師へ連絡
- ②国際交流センターが、授業に必要なものを留学生講師に確認し、団体へ連絡

【授業内容等の打合せ】

- ①国際交流センターが、講師の連絡先を団体担当者へ連絡
- ②団体担当者が、講師と直接、当日の打ち合わせを行う

【事業の実施】

国際交流センターの担当者が、留学生講師に同行

【事業の実施】

講師が直接実施場所へ(国際交流センター担当者は、講師とは別で現地へ伺います。)

【報告書の提出】

授業終了後**20日以内**に「事業実施報告書」(様式3)を国際交流センターへ提出

【報告書の提出】

- ①授業終了後**1週間以内**に「JICA国際協力出前講座アンケート」(様式4)を国際交流センターへ提出
- ②授業終了後**20日以内**に「事業実施報告書」(様式3)を国際交流センターへ提出



独立行政法人 国際協力機構

国際協力 出前講座

JICA海外協力隊員に
講演をしてもらおう



教育係の長岡市
熱中、感動、夢の教育

世界が先生



Q: どんなことができるの？

A: 開発途上国の現場での実体験に基づいた話を聞くことができます。国際協力や途上国の文化や暮らしの紹介、キャリア教育など内容、時間に応じて講座を組み立てることができます。また、SDGsについての講話も聞くことができます。講座例は次ページをご覧ください。



Q: 対象は？

A: 小学校以上の教育機関からの申請を受け付けます。



Q: 費用はかかるの？

A: 講師への謝金と交通費は長岡市が負担します。講座で使用する設備の準備は各団体でお願いします。

その他

- 講師が決まり次第、講師の連絡先をお伝えします。
必ず講師とメール等で事前の打ち合わせを行ってください。
- 一度に呼べる講師は一人までです。

JICA新潟デスク 中村 史さん からのメッセージ

開発途上国って「可哀そうな貧しい国」でしょうか？
国際協力って「自分とは関係ない誰かが行う」ものでしょうか？
もちろん「NO!」。豊かな文化や魅力ある人々にあふれ、
我々と同じ『暮らし』が営まれています。
また、開発途上国が抱える課題の多くは、日本と共通だったり、
お互いに深く関係しています。
「ほんとうかな??」と興味があった皆さん、是非ご連絡下さい♪





海外協力隊体験談



① 自己紹介

- ・ 現地語でのあいさつや自己紹介
- ・ 現地語の文字の紹介
- ・ 協力隊に参加したきっかけ など



JICA海外協力隊が派遣されている国の数は?
これまでにどの位の人が参加した?

② JICAって知ってる?

活動内容や目標などわかりやすく紹介

③ 派遣国の紹介

- ・ ○○国のここがすごい!
- ・ ○○国と日本とのつながり
- ・ 現地で見かける日本のもの
- ・ 戦争や移民など歴史的な関わり など

例) パプアニューギニアのここがスゴイ!

1位 800の部族、800の言語

2位 選挙の投票率200%越え!?

3位 エルメスが認めた

国民的カバンビルム



④ 活動紹介

派遣国、配属先の課題 (SDGsの視点)

- ・ どんな開発課題があったか
- ・ 解決するためにどんな活動を行ったか
- ・ どんな変化があり何を残せたのか
- ・ 自分自身何を得たのか など

⑤ 終わりに

海外協力隊活動を通じて、考えたことや自分自身の変化

- ・ 自分自身が考える国際協力
- ・ 海外協力隊の位置付けや役割
- ・ 海外協力隊、国際協力の必要性
- ・ みんなにできること
- ・ 子どもたちへのメッセージ など



※紹介したものは一例であり、内容は講師により変わります。
ご希望があれば、申請時または講師に直接ご相談ください。